



お元気ですか!
志村 たかよし です

地元に事前説明もない計画。住民に多大な影響が必至 東京都が「オリンピック東京招致」について議会に説明

東京都は、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京招致をめざし、IOCに「申請ファイル」を提出しました。その「申請ファイル」には、選手村と練習用トラックを設置する場所として中央区晴海があげられていました。

そのことは、提出前に新聞等で報道されていましたが、中央区には事前の説明がありませんでした。



選手村予定エリア（「申請ファイル」から）

そのため、区議会は、東京都を呼び「オリンピック東京招致」について2月24日に説明会（全員協議会）を開きました。

都の説明の後、一会派20分の持ち時間で質疑が行われましたが、地域と区民生活に様々な影響が出ることに浮き彫りになりました。

晴海清掃工場は休止を検討

選手村予定地に隣接している清掃工場は、オリンピック期間中は休止を検討していることが明らかにまりました。世界はエコの流れです。世界のアスリート目の前でたくさん清掃車が入りし、600トンの廃棄物を燃やすというのは気が引けるのでしょうか。

有明より広いといっけねど…

16年オリンピック東京招致計画で選手村を作る予定だった有明は30%で、今回の晴海は40%と広くなると説明しました。

しかし、そのエリアにある既存の住宅やホテルなどを含めた広さというところで、選手村や練習用トラックになる面積が、有明より広いのかは明確になりませんでした。

選手村の従業員は

大江戸線と都バスを利用

選手村を出入りする選手や報道、そして業者の関係者は専用の車で移動するそうですが、選手村で働く従業員の方たちは、大江戸線と都バスを利用するといっています。

開会期間だけでなく、準備や閉会後の後片付けの期間などで地域の住民や通勤する人に大きな影響が出るものが危惧されます。

豊海と晴海は仮の橋で結ぶ

前ページ図面の上部に豊海の方からの「関係者入口」の矢印があります。朝潮運河を渡るその場所は仮の橋を作る計画だといっています。他の会派の議員から「仮の橋かよオ」の声が出ました。

オリンピック東京招致を批判

私（志村）も質問に立ち、オリンピック東京招致の問題点をいくつか指摘しました。

IOCに「申請ファイル」を提出する前に地元で説明すべきでなかったかと質問したところ、都は「提出前の公表は禁止されていたので…」と答えました。

私は「地元の声も聞かずに一方的に押しつけるようなやり方は問題だ」と批判しました。

また、東京で開催する動機としてあげているのは「1964年大

会以来の長年の夢」「世界に感謝を示す」「スポーツの力が困難に直面した人々を励まし、勇気づけることを世界に示す」というもので、東京で開催する世界的な意義が薄いものであることも指摘しました。

さらに、開催支持が65%というアンケート調査は、水増しであることも指摘しました。

区長「積極的に」はフライング

区長は28日の所信表明で、東京

招致活動を積極的に行っていくと述べましたが、晴海に選手村が建設される期間や開催期間、そして施設の跡利用など中央区と区民にどのような影響が出るのか検証もせずに東京招致に賛同の意を示すのは拙速ではないでしょうか。

「東京マラソン」今年も中央区を駆け抜ける



疾走するキビエゴ選手。まだこの時は3位くらいでした。



藤原選手（右）とキプロティチ選手の競り合いです。

2月26日に開催した東京マラソン。いろいろなドラマがありました。佃大

橋付近でキビエゴ選手（優勝）、藤原新選手（2位）、キプロティチ選手をカメラでとらえました。